

2019 穎明館教育のグランドデザイン

建学の精神 — 新しいリーダーの育成を目指して —

Experience（経験）Morality（道徳）Knowledge（知識）の EMK を教育の柱とし、国際社会に貢献できる人を育てる

【校訓】

人生は何事に依らず

その目標は高く設定するべきである

その推進には高い知性と理性を必要とする

現在の穎明館生に、そして 50 年後、100 年後の穎明館生のための校訓として定める

【モットー】

仁智は無窮

穎才を研ぎよき地球人たれ

創立者 堀越克明

〔進学校としての最重要の取り組み〕

- ① 高い学力を身につけさせた上で、難関国公立大学への進学者を増やす。
- ② 定期試験、学力テストでの高い結果を出させる（目標平均 80 点以上、Z 会 60 以上、河合塾 70 以上）。
- ③ 授業の充実、家庭学習の充実（1～5 年 平日 2 時間、土・休日 3 時間以上）。
- ④ 高い英語力の養成（英検取得目標 卒業までに 2 級以上）。
- ⑤ 体験学習の充実。探究活動（中学卒論）や全国規模でのコンクールでの成果（数学オリンピック等）。

〔穎明館教育の重点項目（特長）〕

1. 学力向上の取り組み

- ① 授業時数が多く、時間をかけて、基礎学力を確実に定着させる。
- ② 中高一貫シラバスを教科ごとに作成。先取り学習も行い、5 年生までにはほぼ、高校学習範囲を終了する。
- ③ グレード別授業（4 年～）とアドバンストクラス（3 年～）の充実。生徒同士の切磋琢磨。
- ④ 授業展開を工夫。精選された教材と新しい教授法を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ⑤ 豊かな自然環境を生かし、理科では野外観測の機会も多く取り入れている。
- ⑥ 高大接続情報授業（拓殖大学）、STEM 教育の充実。
- ⑦ 補習、講習。夏期講習。放課後学習支援システム。

2. 高い進学希望の実現

- ① 系統的なキャリア教育により、生き方や職業観を深化させる。
- ② 夢、目標実現のために行動する力、学ぶ力を身につけさせる。
- ③ キャリア教育学年テーマ
1 年 創立者に学ぶ 2 年 自分を見つめ直す
3 年 知的創造 視野を広げる 4 年 仕事 大学 学問
5 年 決める 始める 続ける 6 年 挑戦 夢実現
- ④ 進学ガイダンス、キャリアガイダンス、適性検査、各種学力テスト、進学懇談会、医療系セミナー、オープンキャンパス参加、進学講演会、大学生との対話イベント等、多くのキャリア関連行事。

3. 人間性を育む学校生活

- ① 生徒一人ひとりの心身の健康を第一に、規律ある自由の下、豊かな人間性、主体性、協調性を育む。
- ② 生徒主体の学校行事（文化祭・体育祭・球技大会等）、学年行事（菅平・広島・奈良京都・USA）。
- ③ 充実した部活動（運動部 14 文化部 16 高い加入率 中学生約 90%、高校生約 70%）。

4. グローバルな視野を持つ国際理解教育

- ① 全員参加の USA カナダ体験学習、希望者参加のイートンサマーコースの充実により、国際感覚を磨く。
- ② ターム留学、海外大学推薦制度、イングリッシュサマーキャンプ、オンライン英会話等の充実。
- ③ 「英語 4 技能」重視。外部検定試験への積極的なチャレンジ。第二外国語（中国語・仏語）教育。

※前提としての、安心して安全な教育環境づくり（生徒・保護者・教職員で協力する学校文化）

- ・防災訓練 ・スマホ安全教室 ・自転車安全教室 ・防犯教室 ・地域との連携（館が丘団地・拓殖大学等） ・ボランティア清掃
- ・スクールランチの提供 ・スクールバス、京王バス（急行便）の安全運行 ・「緑の会」の活動 等